

# カテーテル挿入・皮膚消毒マニュアル ver 1

2020.8.27

- ①目に見える汚れを水道水を湿らせたガーゼ、生理食塩水、蒸留水などで拭き取る。アルコール綿は使用しないこと。
- ②ランダム化で割り付けられた消毒薬でカテーテル挿入部位を中心部から外側に向かうように消毒を行う。消毒時間はオラネジン群の場合は30秒間を1回、1%CHG群の場合は30秒間を2回実施する。2回目の消毒は1回目の消毒が乾燥した後に行う。消毒の方法は常識の範囲内で各施設に委ねる。
- ③自然乾燥するまで待つ。
- ④乾燥後に挿入部位に滅菌ドレープをかけ、中心静脈ライン、透析カテーテルまたはガイドワイヤーを使用する動脈カテーテルの場合はマキシマルバリアプレコーションで清潔にカテーテルを挿入する。ガイドワイヤーを使用せず穿刺針での動脈カテーテルの場合はスタンダードプレコーション（マスク、帽子、滅菌手袋、清潔ドレープ）を行って挿入する。
- ⑤カテーテル挿入後に刺入部を非抗菌薬含有フィルムドレッシング（ポリウレタン性：テガダーム、オプサイト、など）で清潔に覆う。著しい出血や浸出が多い場合はガーゼドレッシングも可とする。なお、ガーゼドレッシングの際は必ずしもフィルムドレッシングを必要としない。

以上